



第19回

「野生生物と社会」 学会 篠山大会

公開シンポジウム

～地域で考える 野生生物と 社会の未来～

場所：篠山市四季の森生涯学習センター
 主催：「野生生物と社会」学会
 共催：篠山市・神戸大学篠山フィールド
 ステーション・兵庫県立大学・
 森林動物研究センター

参加無料・申込不要

11/28(木) 公開シンポジウムⅠ 『兵庫県の獣害対策最前線』

●時間 13:00～16:30

◆講演

- ①「兵庫県の野生動物管理における森林動物研究センターの役割～計画策定・人材育成・現場対応～」
中谷康彦（兵庫県森林動物研究センター）
- ②「兵庫県但馬地域における被害対策の担い手育成と体制作り」上田剛平（兵庫県但馬県民局朝来農林振興事務所）
- ③「三重県のサル被害対策の実践例」山端直人（三重県農業研究所）
- ④篠山市における地域主体の取り組み事例発表
・「アライグマ被害でつながった地域のオッチャン奮闘記」西牧正美（NPO 法人大山捕獲隊）
・『つらい』獣害対策に『楽しみ』を！～集落ぐるみの対策と意欲継続の工夫 森本富夫（篠山市東木之部集落）

11/30(土) 公開シンポジウムⅡ『野生生物 を活かしたまちづくりの可能性』

●時間 13:00～16:30

◆基調講演

- ①『地域再生の選択肢としての自然再生』菊地直樹（総合地球環境学研究所 / 兵庫県立大学 客員准教授）
 - ②『野外生態系操作実験としての小さな自然再生』
三橋弘宗（兵庫県立大学 / 兵庫県立人と自然の博物館）
- ◆パネルディスカッション コーディネーター 横山真弓（兵庫県立大学）
 伊藤一幸（神戸大学大学院）- 大学と地域の連携による環境保全型農業の実践から - 小橋昭彦（NPO 法人情報社会生活研究所）- 丹波市におけるまちづくり活動の実践から - 横山宜致（公益財団法人兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所）- 篠山市における自然環境を活かしたまちづくりの方向性 -

